

本部町で採集された国内初記録のベラ 本部の夕景にちなみ和名『ユウモドロベラ』を提唱

一般財団法人 沖縄美ら島財団（沖縄県本部町）の宮本 圭らの研究グループは、本部町瀬底島近海で採集された魚類が国内初記録となるベラの 1 種 *Choerodon margaritiferus* であることを明らかにしました。同時に、本種が夕焼けを連想させる赤味がかかった色彩を持つことから、本部町の夕日を形容した言葉「ゆうもどろの花」に因み、和名「ユウモドロベラ」を提唱しました。本研究の論文は分類学の学術雑誌「Zootaxa」に掲載予定です。

■発表雑誌■

雑誌名：Zootaxa

論文名：Northernmost record of a poorly known tuskfish, *Choerodon margaritiferus* (Perciformes: Labridae), from southern Japan, and first description of a female

著者名：（一財）沖縄美ら島財団 総合研究センター 契約職員 宮本 圭
スミソニアン博物館 国立自然史博物館 研究員 野中 愛
（一財）沖縄美ら島財団 総合研究センター 技師 岡 慎一郎

掲載日：未定

■ポイント■

- 本部町瀬底島近海から採集された魚が、国内初記録となるベラの 1 種 *Choerodon margaritiferus* であることが判明。
- 本種はこれまでオスしか知られておらず、メスの形態的特徴について今回初めて明らかとなった。
- 夕焼けを連想させる体色から、本部町の夕日を形容した言葉「ゆうもどろの花」に因み、和名「ユウモドロベラ」を提唱した。
- 本研究は、当財団が推進する亜熱帯性動植物の生物多様性に関する調査の一環として行った。

*要旨は別添資料をご参照ください。

■代表研究者プロフィール■

宮本 圭（みやもと けい）：

2009 年宮崎大学農学研究課水産科学講座修了。2011 年（財）海洋博覧会記念公園管理財団（現在は一般財団法人 沖縄美ら島財団に名称変更）採用。専門は魚類分類学。

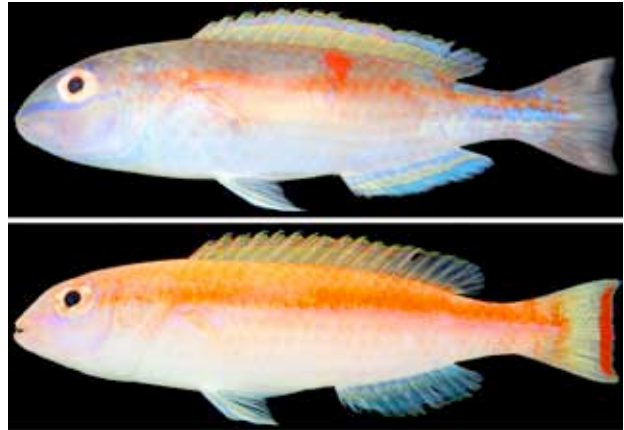
<お問い合わせ> 一般財団法人 沖縄美ら島財団 経営企画課 上間・又吉

TEL 0980-48-3649 / FAX 0980-48-2200

<研究の経緯>

2014年8月、沖縄県本部町の地元の釣人から沖縄美ら海水族館に「見たことのない魚が採れた」と、2回にわたって合計5個体のベラ科魚類が持ち込まれました。後に死亡したこれらの個体は、当財団総合研究センターにて学術標本として保存し、分類学的な調査を行いました。

持ち込まれた個体は、日本国内で確認されているどのベラ科魚類とも明らかに色彩が異なっていたため、外国産の種を含め、全ての類似種との形態比較を行いました。その結果、この魚は1928年にフィリピンで採集され、新種として発表されたベラの1種（学名：*Choerodon margaritiferus*）であることが明らかとなりました。



国内初記録として報告されたユウモドロベラ。
上がオス、下がメス。

本種はこれまで、フィリピン、インドネシア、および台湾から少数の報告しか知られておらず、極めて珍しい種であると言えます。今回の発見は日本での初記録であるとともに、本種の北限記録となります。また、本種はこれまでオスしか知られておらず、メスがどのような姿をしているかは不明でした。本研究では、体色の異なる2タイプ（右上の写真参照）が、それぞれ本種のオスとメスにあたることをDNAと生殖腺の解析から世界で初めて明らかにしました。さらに、本種がメスからオスへと性転換することも分かりました。

<和名の提唱>

本種はオスメスとも赤味がかかった体色をしています。オスは加えて顔や尾に鮮やかな青いラインが入り、背中に鮮やかな赤斑があります。一方、メスは体の中心と尾びれの後縁に鮮やかな赤色のラインがみられます。本種が本部町の沖合から捕獲されたこと、赤味がかかった美しい色彩は夕日が海に沈む情景を連想させることから、作詞家の吉川安一氏が本部町から臨む夕日を「ゆうもどろの花」と形容したことに因み、和名「ユウモドロベラ」を提唱しました。

<今後の展望>

本研究は、当財団が推進する亜熱帯性動植物の生物多様性に関する調査の一環として行われました。今回の発見のみならず、沖縄近海では近年も多くの新種や初記録種が多くの研究機関から報告されており、これらは生物多様性の高さを裏付けるものです。また、今回のように地元住民からの資料提供によって学術成果を発表できたことは、市民参加型の生態系研究のモデルとなり得る事例であり、沖縄本島北部地域の環境保全や生態系研究を推進する上で欠かせない要素であると考えています。沖縄美ら島財団は今後とも地域の皆様と協力しながら、自然環境と生態系保全に関する活動を推進いたします。

※ 現在ユウモドロベラの生体を沖縄美ら海水族館で新たに確保しており、近日中に展示を予定しております。